



私たちは重症心身障害児者のサポート団体です

<http://nakanodream.main.jp/>

〒164-0012 中野区本町 6-36-5-102 TEL03-6454-1230



## 念頭にあたり

新年明けましておめでとうございます。旧年中は「なかのドリーム」にご理解ご支援をいただき、改めて心より御礼申し上げます。

旧年は新型コロナウイルス感染症に明け暮れた1年でした。2019年12月に発生したとされる新型感染症は瞬間に広がり、世界では感染者数7500万人以上、日本では約20万人にのぼります(2020年12月17日時点)。ウイルスの特性がはっきりしなかった当初、長期間に及ぶ学校閉鎖と在宅での自粛生活、病院などでのクラスター発生、PCR検査を受けるハードルの高さ、マスクや消毒液の不足などにより、利用者や職員からも不安の声が聞こえてきました。通所支援の一時停止、マニュアルを用いた感染防止対策の徹底、経営悪化に備えた運営資金の確保など、なかのドリームでは早くからリモートも利用して対応を協議してきました。小児の感染者数は少なくクラスターを作りづらいこと、罹患しても成人と比較して軽症であることは各国からも報告されています。しかし介護現場ではどうしても密になることや医療的ケア児が感染した時の重症化リスクなどより利用者も職員も緊張を強いられています。

私の診療所でも泣いて飛沫を出す子ども達の咽頭所見を毎日見ながら、感染しないかなど不安な気持ちでいます。コロナ情報は日々更新され、テレビではお馴染みの先生方の要領を得たコメントに感嘆しながらも、ストレスは積み重なる一方です。

2月にロックダウンに至ったイタリアから、「文化は歩みを止めない」というスローガンで様々なプログラムが発信されました。イタリアが世界に誇る劇場や美術館からコンサートや所蔵品などが無料公開され、素晴らしい映像に接することができました。医師会での講演会や会合、学会も延期や中止となり、オンラインや動画配信を活用する機会が多くなりました。ひと昔前では考えられなかった便利なツールで、家での過ごし方、何かを学んだり新しい趣味を見つけるといった家庭も多でしょう。そうした生活変容が求められる一方で、経済的不況や社会的孤立の深刻度が増しています。民間信用調査会社「東京商エリサーチ」によると、新型コロナ関係での倒産は

12月17日までに飲食業が最多の799件で、今後の感染状況を考えれば、より悪化する予想です。やがて感染が収束して経済活動が再開しても、立ち直れた人とそうでない人が出てきて、後者は社会的孤立に陥ってしまう。阪神淡路大震災や東日本大震災では災害から数年後に孤立死するケースが増加し、「復興格差」として問題となりました。集団的トラウマを受けた後に、そのトラウマを忘れようとする本能的防衛手段が要因の一つと指摘されています。

3月に最初の感染爆発に見舞われた北イタリアで、「Andra Tutto Bene」(すべてうまくいくよ)という子どもの書いた旗があちこちのバルコニーで飾られるようになりました。皆が家にいる時でも、みんな寄り添っているからねという希望のメッセージです。「ソーシャル・ディスタンス」(社会的距離)が必要と言われる今、回避されるべきは「フィジカル・ディスタンス」(身体的距離)であって、むしろ「ソーシャル」に近づき、手を差しのべ合うことがより大切です。

ワクチン接種が諸外国で始まり、パンデミックは数年で終息するという見方もあるようですが、予測はつきません。今後も感染防止に取り組んでいきつつ、一日も早い終息を祈るのみです。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

理事長 高田功二

## ◆Jcoin 基金助成金をいただきました◆

**Jcoi 基金とは?** 新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている医療機関・医療関係者、影響を受けている子どもたち、アフターコロナに向けての地域活性化の取組などをおこなっている、幅広い分野の非営利団体等を対象とした基金です。

今年度いただいた助成金で「重症心身障害児通所支援事業所における新たな支援」事業を実施します。オンライン支援の可能性をさぐり、在宅で取組める支援物資の提供と活用方法をお伝えするなど、コロナ禍でも通所以外の方法で療育が途切れないう、実践と検証をしていきます。

<実践例> オンライン療育・親オンライン・オンライン面談・オンライン実習・スイッチ講習会・おもちゃスイッチライブラリー・療育CD など



## 〈感染防止対策について〉

安心して通所や訪問介護をご利用いただけるよう、なかのドリームでは、職員向けに「新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン」を定めています。

- ① 感染対策について正しく理解し場面にあった行動を自ら考え実践する
- ② 自らの健康管理をおこなう
- ③ 感染対策をしながら日常生活を安心しておくり勤務にのぞむ

この3点を実行できるよう、日常生活の上でも気を付けることを盛り込み、しっかり感染対策をした上でご支援していきます。



## ◆おでんくらぶ事業報告



\*登録者数:28名(児童発達支援6名・放課後デイサービス22名)

1月現在【中野区17名 杉並区8名 渋谷区3名】

1名の方が転居、1名の方が契約終了となりました。寂しくなりますが、新しい地域や通所支援施設に早く慣れて、元気にお過ごしください。

\*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

6月	7月	8月	9月	10月	11月
77人	80人	92人	75人	81人	92人
3.5人	3.8人	4.6人	3.8人	3.7人	4.9人
70%	76%	92%	75%	74%	97%

6月以降は通常営業となり、学校休業日は午前と午後の二部制にいたしました。9月はキャンセル率が25%と高くなりましたがその後は平常に戻りつつあります。感染防止に十分留意しながら、保護者の方と連携をとって安心してご利用継続していただけるよう職員一同努めてまいります。(管理者:福満美穂子)

## ◆訪問介護なべ事業報告



\*利用者数:25名【中野区23名・杉並区1名・新宿区1名】

朝、晩、とても寒くなってきました。私たちヘルパーにとってご利用者さまのかかわりが唯一の励みです。コロナ禍において皆さまのご不安が少しでも少なくなるよう、訪問介護なべでは、手洗い・うがい・着替えなど常に注意し万全な体制でケアを行ってまいります。安心してご利用いただけますよう、これからも十分配慮していきますので、今年もよろしくお祈りいたします。(管理者:松田弥生)

### ■非常勤訪問介護職員 募集!

支えてくださる方を募集しています。週1回からでもOKです。詳しくはお問合せください。お知り合いにもぜひ、お声かけください。  
03-6304-8651 メール [info@nakanodream.main.jp](mailto:info@nakanodream.main.jp) (担当:佐藤)

### 研修・訓練:

- 9/18 風に立つライオン基金「感染症対策」研修(オンライン)
- 10/7 おでんくらぶ職員向け「感染症対策」内部研修
- 10/22・28 おでんくらぶ避難訓練実施
- 11/28 重デイネット全国研修「療育発達支援」下川先生(オンライン)
- 11/30 中野区介護サービス事業所研修「緊急対応研修 寒い時期に多い疾患と予防ケア」
- 12/1 中野区障害者支援施設 感染症対策講座
- 12/12 東京都 管理者研修「メンタルヘルスについて」(オンライン)
- 12/20 重デイネット全国研修「看護」奈須先生(オンライン)

## ◆外部活動報告◆

◎9/3 帝京平成大学看護学部講義: 実習受け入れの事前講義をおこないました。今年度、おでんくらぶでの実習はオンラインにて実施しています。

◎9/11 センオン杉並にて、みかんぐみ主催「普通に死ぬ〜いのちの自立」映画上映会とフリートークイベントに参加いたしました。貞末監督と保護者や施設運営者、きょうだい支援者でトークイベントが開催されました。

◎11/23 中野区ペアレントメンター養成事業シンポジウム「わたしたちはここにいるよ」に参加。保護者や当事者による経験談と、放送大学准教授で公認心理師の波田野茂幸先生による「コロナ禍の子どもと家庭・学校」講演がおこなわれました。(理事:福満)

## 賛助会費・寄付のお願い

賛助会費 1口 3,000円

寄付金 1,000円~

●賛助会費か寄付金かを明記下さい

①【ゆうちょ銀行から振込】

[口座記号・番号]

00190-3-420254

同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から振込】

ゆうちょ銀行

[店名・店番] 019(ゼロイチキョウ)

[種 目] 当座

[口座番号] 0420254

[口座名] 特定非営利活動法人

なかのドリーム